

モバイルデバイスをセキュアに利用

パロアルトネットワークス 次世代ファイアウォール GlobalProtect

昨今、モバイルデバイスを業務で活用するために、外出先からVPNを利用して社内システムに接続するケースが増えています。しかし社内システムへの接続には、多くのセキュリティリスクが潜んでいます。

そのため通信の暗号化はもちろんのこと、モバイルデバイスには、マルウェアの対策や情報漏えい対策といった社内PCと同様のセキュリティ対策が必要です。パロアルトネットワークスのGlobalProtect機能を利用すれば、パロアルトネットワークス 次世代ファイアウォール1台で外出先からもセキュアに社内システムに接続することができます。

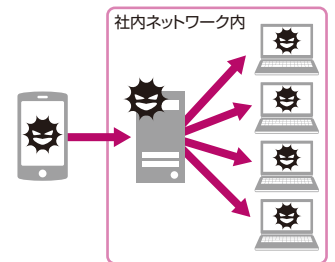


社内システムへの接続による利便性の裏には危険があります

課題1

モバイルデバイスからのマルウェア感染

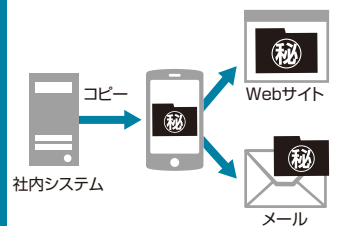
OSのバージョンアップやウイルス対策が不十分なモバイルデバイスは、マルウェアに感染する恐れがあります。また最近ではアプリケーションからのマルウェア感染も増えています。マルウェアに感染したデバイスを社内システムに接続した場合、社内ネットワーク内にマルウェアが侵入し、感染が拡大する可能性があります。



課題2

モバイルデバイスからの情報漏えい

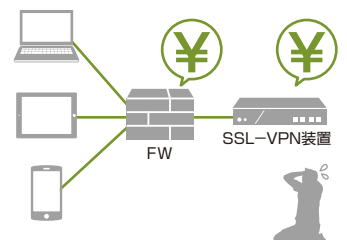
社内システムへ接続すると、モバイルデバイスに社内のファイルをダウンロードすることができます。そのためデバイスに機密情報が残り、紛失・盗難時に情報漏えいするリスクが高まります。さらにモバイルデバイスでのWebサイトへの書き込みや、ファイルのアップロード、メール利用の際に、誤って情報を流出させてしまう危険もあります。



課題3

専用装置導入によるコスト負担

モバイルデバイスから社内システムへ接続するには、ファイアウォールだけでなく専用のSSL-VPN装置が必要となるのがほとんどです。そのため2つの製品によりコスト負担が大きくなることはもちろん、それぞれの運用管理も個別に行わなければならない、管理者の作業工数も大きくなります。

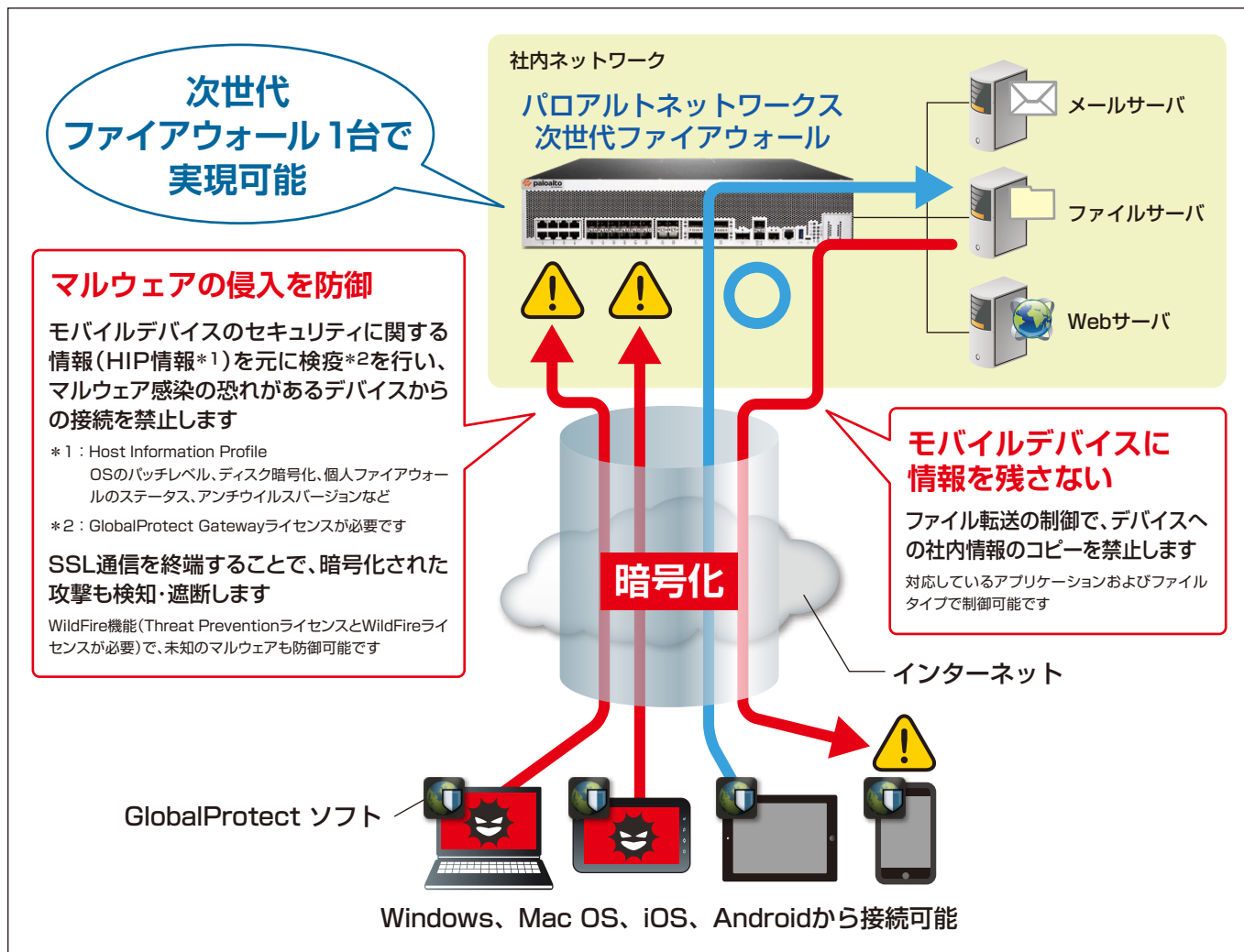


外出先でモバイルデバイスをセキュアに活用するためには、社内PCと同様のセキュリティ対策が必要です

▶▶▶ これらの課題を **GlobalProtect** で解決!

GlobalProtectを利用して社内システムへセキュアにアクセス

GlobalProtect機能による解決策



仕様

GlobalProtect 対応OS

- Windows 7/8/8.1/10/10 UWP
- Apple Mac OS X 10.10以降
- Apple iOS 10~11(64bit only)
- Google Android 4.4~9.X
- Google Chrome OS 45以降
- Linux CentOS 7/Ubuntu 14.04以降/Ubuntu 16

※GlobalProtect 4.1.5時点

※Palo Alto Networks、GlobalProtectは、Palo Alto Networks, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他、本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/paloalto/

S14K-26-04 2024.09